

▼サレドカプセル [内]

【重要度】 【一般製剤名】 サリドマイド (U) Thalidomide 【分類】 抗多発性骨髄腫剤・抗らい性結節性紅斑剤

【単位】 ▼25mg・▼50mg・▼100mg/Cap

【常用量】 ■多発性骨髄腫：100mg/日より開始し、効果不十分な場合には4週間間隔で100mgずつ漸増 [最大400mg/日] ■らい性結節性紅斑：50~100mg/日より開始、症状が緩和するまで必要に応じて漸増 [最大400mg/日]

【用法】 1日1回寝る前

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (1)

【その他の報告】 MMに対して100mg/日で適用し、肺塞栓を発症したHD症例がある (鈴木美貴, 他: 透析会誌 44: 951-6, 2011)

【保存期 CKD患者への投与方法】 減量の必要なし (1,U)

【特徴】 血管新生抑制作用を有し、再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療に用いられる。催奇形性があるため取り扱いには厳重な管理が必要。

【主な副作用・毒性】 催奇形性、深部静脈血栓症、肺塞栓症、脳梗塞、末梢神経障害、間質性肺炎、SJS、TEN、不整脈、心不全、起立性低血圧、消化器症状など

【吸収】 $ka=0.200/hr$ (Waage A, et al: Br J Haematol 125: 149-55, 2004)

【F】 資料なし (1)

【 t_{max}] 4.5hr (1)

【代謝】 非酵素的な加水分解が主な代謝経路と推測されている (1)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 0.6% [po, 24hr まで] (1) 0.7% (U)

【CL/F】 $6507 \pm 1172 mL/hr$ [po] (1) 腎 CL $80 mL/hr$ (1) $0.126 L/hr/kg$ [po] (Waage A, et al: Br J Haematol 125: 149-55, 2004) $1.15 mL/min$ (U)

【 $t_{1/2}$] 5hr (1) 4.98hr, $ke=0.140/hr$ (Waage A, et al: Br J Haematol 125: 149-55, 2004) 6~7hr (U)

【蛋白結合率】 55~66% (1)

【Vd】 $45 L/man$ [po] (1) $0.886 L/kg$ (Waage A, et al: Br J Haematol 125: 149-55, 2004) $121 L/man$ (U)

【MW】 258.23

【透析性】 HD クリアランスは非 HD 日の2倍になるが用量調節は必要なし (1)

【O/W 係数】 $\log P=0.25$ [1-オクタノール/水系, pH7] (1) 【pKa】 10.3 【薬物動態】 血中濃度はMMの効果と関連していなかった (Waage A, et al: Br J Haematol 125: 149-55, 2004)

【相互作用】 鎮静作用、末梢神経障害、血栓症の相互増強に注意 (1)

【備考】 1回の最大処方量は12週間

【更新日】 20200513

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。